



株式会社 新日

補償三三三

本社 / 〒454-0011 名古屋市中川区山王一丁目8番28号 TEL 052-331-5356 FAX 052-331-4010

URL http://www.shinnichi.co.jp E-mail:shinnichi@shinnichi.co.jp



岐阜支店 / 〒500-8347
岐阜支店 / 〒510-0305
岐阜支店 / 〒470-0375
岐阜支店 / 〒440-0888
岐阜支店 / 〒444-2117
岐阜支店 / 〒273-0005
岐阜支店 / 〒026-0024
岐阜支店 / 〒431-1414
岐阜支店 / 〒529-1802
岐阜支店 / 〒516-0008
岐阜支店 / 〒981-3213

岐阜支店 / 〒500-8347
岐阜支店 / 〒510-0305
岐阜支店 / 〒470-0375
岐阜支店 / 〒440-0888
岐阜支店 / 〒444-2117
岐阜支店 / 〒273-0005
岐阜支店 / 〒026-0024
岐阜支店 / 〒431-1414
岐阜支店 / 〒529-1802
岐阜支店 / 〒516-0008
岐阜支店 / 〒981-3213

TEL 058-276-7567 FAX 058-276-7568
TEL 059-244-0206 FAX 059-244-0205
TEL 0565-43-0061 FAX 0565-43-0062
TEL 0532-57-6231 FAX 0532-57-6232
TEL 0564-65-2165 FAX 0564-65-2167
TEL 047-460-5686 FAX 047-460-5685
TEL 0193-55-5874 FAX 0193-55-5874
TEL 053-524-4560 FAX 053-524-4562
TEL 0748-83-8731 FAX 0748-83-8733
TEL 0596-21-0806 FAX 0596-21-0807
TEL 022-343-5578 FAX 022-343-5579

編集者 内田 貢朗

ISO9001:2008

平成27年度を迎えて

平成25年9月にオリオンビック、パラリンピックが東京に決定した瞬間をテレビで見ると興奮し、また感動したのを鮮明に覚えていいます。そして、昨年の平成26年には組織委員会の設立、国立競技場の立替計画等、平成32年の東京オリリンピック開催に向けて着々と事業が進んでいくことでしょうか。さらに平成26年には、東京、名古屋間を最短40分で結ぶリニア中央新幹線計画が公表され、平成39年には開通の予定とい

補償業務に従事者として

求人活動の会社説明会で、補償コンサルタント業務について話をすると、自分自身、なぜ補償業務に携わっているのかを改めて考えてみました。私が設立している弊社の看板も当初はこの業務に携わることになったのは、私自身、建築を専攻する学生であり、多くは道路や橋梁、建物など、新たな物を造り出す業務に関わることを希望し、夢見ていた。これらの若者に対し、一般的に認知されていない補償コンサルタント業務の内容を、まじや直接物を作り出すことではなく、新たな物を造り出す前、あるいは造った後に開く業務について、いかに興味を持ってもらうか、

ここに来て、これほど大型の国家的プロジェクトは、特に中部地方では名古屋駅の高層ビル建設ラッシュを含め、建設事業に携わるものにとっても非常に明るい話題となつています。また、愛知県を始めとする公共事業についても、その発注量は業務の内容に偏り傾向はあるものの、一息つくことのできる感の印象も否定はできません。こうした時期こそ、技術者の質量と共に補償するチャンスだと考えています。弊社では、平成26年に仕事を通じて社会に貢献していくとした熱く情熱ある新卒者を求め、この春の平成27年4月より、土木設計1名、建築設計2名、測量2名の計5名が新入社員として加わります。今年も中途社員の採用も含め熱く情熱ある社員を求めていく予定です。また、技術力向上についても、技術者の排除及び職員の技術向上に

するバックアップ並びに積極的登用を図っていく予定です。平成27年度、(株)新日は発注者に対して信頼される技術者集団を目指す覚悟です。起業者の皆様には、今後ともご指導の程、宜しくお祈り申し上げます。(M・A)



用地補償総合技術業務を通じて

用地補償総合技術業務(以下「総合技術業務」)に従事して1年半が経過しました。通常、私達、補償コンサルタント会社を受注は、物件調査と事業損失の業務がメインの仕事です。しかし、昨年度、当社は総合技術業務を受注することが出来ました。そして、まさか自分自身が総合技術業務に従事するとは思っていませんでした。「総合技術業務」用「地交渉」というイメージがあり、用地取得における最終工程である用地交渉は事業予算を管理している起業者(官庁等)側からしか出来ない業務だと思っていたからです。この数年で、事業認定図書作成や裁判申請書作成等の業務も発注されるようになり、官から民への業務委託が急速に進んでいる事を実感します。総合技術業務の内訳及びその内容は、概況ヒアリング現地踏査関係権利者の特定補償額算定書の照合及び補償金明細書の作成公共用地交渉資料作成公共用地交渉記録簿の作成移転履行状況等の確認



ん。即ち、表に出ず人知れず陰で働く、縁の下で力持ち的な仕事でありそれが私には性に合っていたのだと思います。3Kと言われる建設業の就業者数減少が問題となつて久しいですが、縁の下で力持ち的な仕事にやりがいを感じる若者は必ずどこかにいるはずでは。補償業務に関わる者としては、補償業務がもっと認知され、土木設計や建築設計と同じように最初から補償業務を希望する人材が現れることを望んでいます。(N・T)

経験者の方々や在籍してあり、その方々の指導により、現在まで業務を遂行してきています。まだまだ1年半ですが、業務の中で注意したことについて、いくつか紹介させていただきます。用地交渉における一番の基礎資料となる補償金明細表について、これは登記事項証明書、土地面積計算書、土地の評価額(個別的要因調査及び格差率算定表)及び、戸籍簿、住民票、補償額算定簿(物件等)等から、関係権利者における対象地の所在地、住所、氏名、買収面積、残地面積、土地の単価、土地代金、物件の移転補償額の内訳などを記載したもので、誤りが1つも無いように何度も繰り返しチェックし作成します。細心の注意を払いチェックしますが、一番難しいのは関係権利者の名前に使用されている変体仮名や当て字、読み方です。用地交渉を行う上で読み方や字体の誤りは交渉の始めから心証を悪くし、その交渉に支障をきたす場合もあります。所有権以外の権利設定(抵当権、耕作権、地役権など)や、農地における納税猶予の特例においても記載しておきます。所有権以外の権利設定があった場合、契約前に権利を抹消していたかどうか、抹消に必要な抹消承諾書等を収集していただく必要があります。願ひ致します。(T・K)

# かまいたし だより⑥



## 用地交渉の現場から

復興事業の為の用地交渉が本格的にスタートして半年以上になります。

私が担当する地域は釜石市の中心であった場所とその周辺で、津波に襲われ現在はほとんど建物が残っていません。この地域では津波に強い町を目指し、数メートル以上のかさ上げ工事が行われる予定になっています。事業の性格上この大工事をを行うには釜石市が土地を取得する必要があります。そのために土地所有者のお宅を一軒一軒訪問し、この復興事業への協力を願う毎日が続いています。訪問するお宅は津波の被害を受けた方、家が流され仮設住宅にお住まいの方、釜石市から引越された方や、もともと釜石市に住んでいなかった方と様々です。



土地所有者のお宅を訪問すると、言葉のイントネーションが明らかに違うからでしょうか、「釜石の人じゃないね。どこから来たの?」とよく聞かれます。「名古屋から来ました。御新田という会社の子です。」と答えると、「そんな遠くからわざわざありがとね。」と感謝の言葉を頂くことがほとんどです。ほかにも「妹が愛知県に嫁いでいるよ。」とか「仕事で名古屋に住んでいたことがあるよ。」と、意外なところでも釜石市との縁を感じることがあります。時には仕事以外の事で話が盛り上がり、友達からサンマもらったから少し持って帰ってよ。」と言われたことも。ご友人とは漁師さんなのでしょ、か、仮設住宅の玄関には水の詰まったバケツが置いてあり、その中には生サンマがいっぱい。目の前の海で水揚げされたばかりだそうです。とても魅力的なお申し出だったので、残念ながらこの後も別のお宅を訪問する予定があったことからは、いまだたくはできません。もちろんコンプライアンスという言葉も忘れていません。



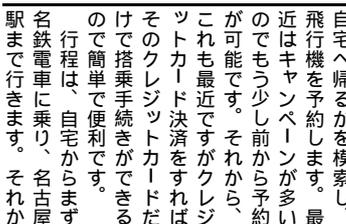
当たり前の事ですが、暖かい言葉ばかりではあられない。おまじい方は高齢の方が多く、「だいぶ時間がかかっているね。」、「もう3年以上もこのまま。いったいどうなっているの。」、「復興が終わるころにはもう8歳を越えているよ。」と、悲しい経験もありました。再び訪問させていただき、その方がお亡くなりになったとの連絡がありました。その方は土地を買い戻し、そこに自分の家を建てることを目標とされていましたが、し、その想いは叶わず仮設住宅で最期を迎えられたのでした。このようにお話しする方も少なくありません。たとえその方が言葉にされなくても、そのようにお考えだということは伝わってきます。

## 東北支店に入社して

私が東北支店勤務させて頂くようになり、早くも10ヶ月の月日が経ちました。

初めは建設業という挑戦の業界ということや地元以外の方々に囲まれるという事で、不安だらけの毎日でしたが、皆さんの丁寧な指導と対応により、その不安が消えていくのにそれほど時間はかかりませんでした。私は現在、測量部に所属

属し様々な現場を経験させて頂いています。入社当初は器械を握るのにもまなななかつた私ですが、少しずつ早くなっていくことを実感するたびに喜びが溢れます。しかし、まだまだ未熟なところばかりで自信がなくなることも多々あります。一つ一つの業務を大切に、先輩方の技術をたくさん吸収してこれからは成長し、自信に満ち溢れることができるよう一生懸命努力していきます。



（釜石市役所の敷地内に撮影）

## 東北支店までの道のり

【往路】  
今までとった方法としては飛行機でしか東北へ行った事はありません。まず2ヶ月程前から自宅へ帰るのを模索し、飛行機を予約します。最近ではキャンベーンが多いのでもう少し前から予約が可能です。それから、これも最近ですがクレジットカード決済をすればそのクレジットカードだけで搭乗手続きができるので簡単で便利です。行程は、自宅からまず名鉄電車に乗り、名古屋駅まで行きます。それから

【復路】  
帰りは自宅へ帰るだけなので、今まで3つの方法を試しました。まず1つ目の方法は、往路の反対のルートをとる方法。その方法と一日3便の飛行機の一便早い朝便に乗り、朝6時前にアパートを出る

【A.O】  
3つ目の方法は、やはり、まず徒歩で釜石駅へ行き、JR釜石線から新幹線へ。新幹線から仙台駅へ。仙台駅のバス停から夜行バスの名古屋駅へ。後はその方法と同様に名鉄電車です。この方法が自宅への到着時間が一番早く、夜6時前に出

【M.U】  
当社は、福島の間野蔵施設建設用地確保のため、建物等の調査に参加します。その予定地での作業には放射線に対する正しい知識が必要ですが、その知識を得るための放射線教育が義務付けられています。東北の被災地復興に協力し、社員の多くが積極的に参加同意し作業を進めるための準備をしています。公共事業に携わるものとして、少しでも早い被災地の復興に協力できるよう努力をしています。今後ともよろしくお願

うになりたいと思っています。私は釜石市で生まれ、その隣町の大槌町で育ちました。この二つの町が私のふるさとです。震災直後、変わり果てたそのふるさとの光景を目の当たりにした時は、悲しみと絶望に襲われました。そんな私がこの町の復興に携わることができるとして、本当に嬉しいです。そして、徐々に徐々ですが新しい姿で元気を取り戻していく町を見る度に「がんばろう」という文字が浮かびます。今後よりよいまちづくりに貢献努力していきます。

頼りない私ですが、先輩方には温かい目で見守っていただけそうです。よろしくお祈り致します。業務以外でも色々な交流があり、パークビューやサバ釣り、JVでの交流会、そして、新日のトップランナーであるK係長に誘われたマラソン...



【T.K】  
今期は暖冬予想通り比較的穏やかでしたが、2月に入って強い寒波が押し寄せ真冬に逆戻りしたような感じです。しかし、日差しは着実に温かみを増して春はもうすぐそこに来ている。今年には特にインフルエンザが蔓延しているようすが皆様はどのようにお過ごしでしょうか。これからは特に気温の変化が大きくなりますので、体調には十分お気を付けてください。

## 後編集

